

総合診療専門医プログラム

定員
2名



プログラム責任者
 中通総合病院
五十嵐 知規
 診療部長・循環器内科統括科長

**専門研修
 担当者先
 連絡** 大塚 将樹 臨床研修担当
 TEL.018-833-1122 FAX.018-831-9418
 E-mail meiwajin@meiwakai.or.jp
 HP http://www.meiwakai.or.jp/nakadori



プログラムの特徴

本研修プログラムは病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的として創設されました。日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する総合診療専門医を養成します。また、3年間のサポート体制により、終了判定の要件基準に確実に到達できます。

プログラムの説明

当院は各診療科の横の連携が良く、症例数も多く、研究発表や学会発表にも積極的に取り組んでいます。新臨床研修制度以前(S43年~)からスーパーローテートによる初期研修に取り組んでおり、専門研修にも力を入れています。

総合診療研修Ⅰを行う大曲中通病院は、高齢者の在宅医療の受け皿が都市部に比べると大きく、療養病床、ショートステイ、通所リハビリ機能をもちながら、在宅医療にも力を入れる中小病院で医療と介護の視点を併せ持った診療を展開しております。大館市立扇田病院では地域医療ニーズ、医療特性に合わせた研修が可能です。

総合診療研修Ⅱおよび領域別研修(内科、小児科、救急科、選択科)行う中通総合病院は、「いつでも、どこでも、だれでも」「患者の立場に立つ親切で信頼される良い医療を行い地域に貢献していく」という理

念を掲げて、いち早く新技術を取り入れ、断らない救急医療、在宅医療への積極的な関わりを行っており、秋田市・近郊医療圏から年間約3,000台の救急車搬入があります。一方、診療報酬に収載される遥か前から訪問看護を先駆的に行なっており、現在は訪問看護ステーション、ヘルパーステーションを併せ持っています。整った環境の中では非、共に学び合ひましょう。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

県都の第一線総合病院と農村部の中小病院で提供される、多様な診療の場において獲得する3年間のプログラムです。



取得までのキャリアパス

内科研修 (中通総合病院)		総合診療研修Ⅱ(中通総合病院)
救急科研修 (中通総合病院)	小児科研修 (中通総合病院)	選択科研修 (中通総合病院)
総合診療専門研修Ⅰ (大曲中通病院) ※週1回、「伊藤小児科・内科医院」において小児科外来研修 (大館市立扇田病院)		総合診療研修Ⅱ (中通総合病院)

※3年間のプログラムは希望に応じて組み替えることが可能です。

